

教科	芸術	科目	音楽 I	担当	
履修学年	1年	単位数	2	履修区分	普通科 (選択 必履修)
教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)				
副教材等	なし。五線紙などは配付します。				

1 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広くかかわる資質・能力を育成する。曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わりおよび音楽の多様性について理解する。

2 学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	知識・技能	【知】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的な背景などのかかり及び音楽の多様性について理解している。 【技】創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
b	思考・判断・表現	音楽を形作っている要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら自己の表現に生かそうとしている。知覚したことと感受したことのかかりについて、どのように表現したらよいか考え、演奏の他、文章や作品の創作に生かしている。
c	主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び創作などの学習活動に取り組もうとしている。

3 全体計画

期	月	内容の まとめり	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
					a	b	c		
前 期	4	歌唱	曲にふさわしい発声で歌おう	枝歌	○	○	○	A 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 B 音楽の要素を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 C 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	授業への取り組み 実技 授業への取り組み
				Ave Maria	○	○	○		
				'O sole mio	○	○	○		
				「ヴォイス・トレーニング」他	○	○	○		
	5	お互いの音を聴き合おう	翼をください	My Old Kentucky	○	○	○	A リズム、テンポ、旋律を知覚し、それらの働きや雰囲気を感じながら楽曲にふさわしい技能を身に付けている。 B 他声部との響きを感じ、他の声部とのかかりや役割について考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 C 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	授業への取り組み 実技 テスト 課題取り組み
				Home. Good Night	○	○	○		
	6	鑑賞	最古の音楽を聴いてみよう	グレゴリオ聖歌	○	○	○	A 音楽の起源と歴史的背景を把握し、理解を深めている。 B 奏者による表現の特徴を感じ、理解したことや想像したことを文章で表現できている。 C 楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞に取り組もうとしている。	授業への取り組み レポート 授業への取り組み
				他	○	○	○		
	6	楽典	ソルフェージュ	楽譜の読み方・書き方	○	○	○	A 音符、楽譜の構造に関して理解を深めている。 C 主体的に授業に取り組もうとしている。	授業への取り組み テスト
					○	○	○		
前期中間考査									
6	歌唱または器楽	文化祭に向けた取り組み	少年時代	○	○	○	A 歌唱表現や器楽表現をするために、曲にふさわしい発声や奏法および他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 B 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 C 曲想と歌唱や器楽の音色や、奏法とのかかりについて関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	授業への取り組み 実技 授業への取り組み	
			トーンチャイム	○	○	○			
			郷土の民謡と芸能	○	○	○			
5	日本の民謡と芸能	民俗芸能を味わおう	郷土の民謡と芸能	○	○	○	A 日本の民俗芸能の文化的・歴史的背景について理解を深めている。 B 民俗芸能を取り巻く現状やありかたについて考え、自分なりの考えを持ち、文章に表すことができている。 C 主体的に授業に取り組もうとしている。	授業への取り組み レポート テスト 授業への取り組み	
				○	○	○			
9	歌唱	日本歌曲を味わおう	この道	○	○	○	A リズム、テンポ、旋律を知覚し、それらの働きや雰囲気を感じながら楽曲にふさわしい技能を身に付けている。 B 音楽の要素を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 C 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	授業への取り組み 実技 課題取り組み	
				○	○	○			
前期末考査									

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
					a	b	c		
後 期	9 5	器楽	リコーダー アンサンブル またはトーン チャイム	グリーンズリー ヴス ザナルカンドに て 星に願いを 見上げてごらん 夜の星を	○	○	○	A 楽器の構造や奏法について理解をし、演奏するために必要な技能を身に付けている。 B リズム、テンポ、旋律を知覚し、それらの動きや雰囲気を感じながら楽曲にふさわしい表現をしようとしている。 C 楽器の音色や奏法とのかかわりについて関心をもち、主体的・協動的に器楽・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業への取り組み 実技 テスト 課題取り組み
					○	○	○	A 歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言語の発音、発声、身体の使い方などの技能を身に付けている。 B 音楽の要素を知覚し、それらの動きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 C 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	授業への取り組み 実技 テスト 授業への取り組み
後期中間考査									
後 期	11 5 2	和楽器	箏を弾こう	さくら変奏曲 六段の調から 「初段」他	○	○	○	A 楽器の構造や奏法について理解をし、演奏するために必要な技能を身に付けている。 B リズム、テンポ、旋律を知覚し、それらの動きや雰囲気を感じながら楽曲にふさわしい表現をしようとしている。 C 楽器の音色や奏法とのかかわりについて関心をもち、主体的・協動的に器楽・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業への取り組み 実技 レポート 授業への取り組み
					○	○	○	A 歌の構成や創作に関する事項について理解している。 B 作詞から生み出される旋律を想像しながらことばの選び方や使い方を工夫し、どのような作品にしたいのか表現意図をもっている。 C 作詞の創作に関心をもち、主体的・協動的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	授業への取り組み 創作 創作への取り組み、期限までの提出
					○	○	○	A 音楽史に関する事項について理解を深めている。 B 音楽が生まれた歴史的背景を理解し、時代ごとの音楽の形式や特徴を味わって聴いている。 C 音楽の歴史に関心をもち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。	授業への取り組み 鑑賞 テスト 授業への取り組み
					○	○	○	A 舞台芸術に関する事項について理解を深めている。 B ストーリーと、作曲者および演者の表現と当時の社会背景を重ねて作品の意図するところを理解し、感じたことを文章に表現している。 C 舞台芸術に関心をもち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。	授業への取り組み レポート 授業への取り組み
後期末考査									

4 評点の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a	30	30	30	30
b	40	40	40	40
c	30	30	30	30
計	100	100	100	100

※変更がある場合は、教科担任が事前に連絡します。

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

- ・授業は出席しましょう。欠席が重なると進級に大きく影響することがあります。
- ・課題は取り組んだ量やでき具合から取り組みの姿勢や技量を評価します。
- ・恥ずかしがらずに演奏していきましょう。